

労働組合運動の原点を大事に！ストロングスタイルの労働運動を！

3月17日 札幌地区ユニオン第20回定期総会ひらく

札幌地区ユニオンは3月17日（土）15時より札幌すみれホテルで第20回定期総会を開催しました。冒頭熊谷代表は昨年の相談状況には事業主の気分次第で雇用不安に陥ったとの内容が目立つとし、少なからず現政権の強引な姿勢が影響しているのではないかとしました。そして、立場の弱い労働者が真っ先に犠牲になるのはやむを得ないという考え方が国政運営ににじみ出ているが、この状況に歯止めを掛けるのが労働組合の役割であるとし、しっかりとした総括と今後の対策を活発に議論しようと檄を飛ばしました。

第20期運動方針では、組織拡大、労働法制改悪阻止、組織強化の取り組み及び2018春闘の取り組みが提起されました。何れの方針にも労働者の声を尊重した労働者による運動を展開するという、ストロングスタイルの労働運動が提案されました。また、政治活動方針が初めて方針提案がなされ、政策立案過程に労働者の声を託すことができる政治活動を展開しようとの内容が説明されました。

参加した代議員35名からは活発な意見が出され、特に平和運動については、より積極的な取り組みをすべきでとの修正要求がなされました。山本書記長は平和運動については一昨年から各種行動への参加を強めているが、今後は執行委員会の議論を活発にして取り組み強化を図りたいとしました。提案された方針案は全て満場一致で可決されました。

